

人体の構造と機能【生物学】

担当教員	渡辺 明夫	所属	秋田県立大学
対象学年/開講時期	第1学年/前期	単位数	1単位(15時間)
履修の目的			
<p>生きているということはどういう現象なのか、生き物のからだを構成する成分や細胞の働きを学び、医療・看護にたずさわるために必要な生き物のとらえ方を身につける。</p>			
授業の形式			
<p>教科書にそって、随時、パワーポイントによる説明、関連事項の紹介等をまじえながら講義を行う。</p>			
成績評価の基準等			
<p>出席と受講態度、修了試験の結果を合わせて、総合的に評価する。</p>			

【教科書・参考図書】

番号	書名	発行所
①	ヒトを理解するための生物学 改訂版 ISBN978-4-7853-5242-4	裳華房

【授業計画】

授業回数	履修主題	授業内容	教科書	担当教員
第1回	生命とは、	生物はどのようにできているのか、その成り立ちについて。	①	渡辺
第2回	細胞とその構造	生命の基本単位、細胞について。	①	渡辺
第3回	生命活動と代謝	生きているためのエネルギーはどのように獲得されるのか。	①	渡辺
第4回	生体内の分子、化学反応	からだをつくる成分、分子、酵素などについて。	①	渡辺
第5回	細胞分裂、細胞の老化	生きている状態を維持していくために必要なこと。	①	渡辺
第6回	遺伝情報と生物の体づくり	生命の設計図と細胞分化、器官形成など。	①	渡辺
第7回	生き物の生活環、遺伝、進化	生命を過去・現在・未来へとつなぐしくみ。	①	渡辺
修了試験				

学生へのメッセージ

普段、生きていることを意識させないくらいに、生き物のからだは精緻、巧妙にできていて、常にはたらき続けています。その貴重さ、ありがたさに気付くことが大切だと思います。